

もうすぐ、はるですよ〜

2月3日は「節分」です。

節分は季節の変わり目、災いを追い払う日です。

豆まきをするお家も多いかと思いますが、関西では鰯料理と巻き寿司が節分のもよおしの中心だったりするようです。(日本の伝統行事・行事食より)

みなさんも豆をまいたり巻き寿司を食べたりして、災いを追い払ってしましましょう。

新一年が
素直に
お正月を
迎える
ように

読んでみて！！



おふくさんの12かげつ / 服部美法 / 大日本図書
12人のおふくさん。
2月のおふくさんの名前は何かな？



ふくはうちおにもうち / 内田麟太郎 / 岩崎書店
「さむいよ、さびしいよ」
この声は、いったい誰かな？



いたいのいたいのとんでゆけ / 新井悦子 / すずき出版

「うまいのうまいのとんでゆけ・・・」
いたいのも、うまいのも分け合えるといいですね。



オニのきもだめし / 岡田よしたか / 小学館
おにだって可愛いもんは、可愛い！
あかおにも
おばけがでたら
あおうなる



これも読んでみて！

2月6日からイタリアで
オリンピック冬季大会が始まります。
日本の選手も沢山出場します。



世界のともだち偕成社・アスリートの魂 NHK・
オリンピックものしりチャンピオンくもん出版

★★ 図書館からのお願い★★

2学期に借りた本が、そのままになっている人がいます。
その本を待っている人もいます。すぐに返すようにしましょう。



今月の詩



こえにだして
よんでみよう

ねんねよ ぼうや
桃太郎もねんねだよ
西の空ももっくろけ
東の空ももっくろけ
ガツパ ガツパ
こんやはさむい

海からきたよ
ガツパ ガツパ
のぼりもたてて
はちまきしめて
桃太郎がきたよ
かわいよ かあちゃん

鬼の子守唄
坂田寛夫

『家族で読書』をおえて・・・



「楽しい時間をすごせました」
「親と一緒によめてよかったです」

「もっと本を読もうね」
「もうちょっと本を読みたいと思いました」

「おかあさんにたくさん読んでくれてありがとう」
「うれしかったです」

「久しぶりに読んだ本もあったのでなつかしかったかな？たまには本にもふれようね」
「本をたくさん読めて良かった」

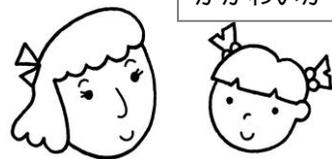
「普段は本を読んだりしませんが、楽しく子どもと一緒に本が読めて良かったです」「いつもは読まないけど久しぶりに読んでよかった」

「良い読書週間になったと思います」
「色々な本があっておもしろいと思いました」

「図書館に行って本をさがしたり楽しそうに読んでいました」「いろいろな本をよめてよかった」

「寝る前、お布団に入ってから読書の時間にしました。親子での読書、幸せな時間でした」

「時間がなくバタバタした日は読めませんでしたが本人は頑張って読んでいました」「ぼくぼくがかわいかった」



「普段の会話に読書がプラスされ本を手にする機会も増え図書館に出かけるキッカケになりました」

「少しずつ上手になっています。いっぱい読めばどんどんうまくなりますよ」「えほんをよんでたのしかった」

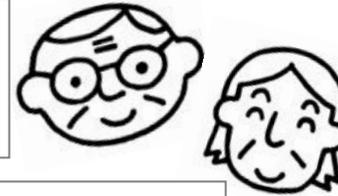
「たくさん読んでいますが、もう少し難しそうなものにも挑戦してほしいですね」
「たくさん読めました」

「自分からすすんで本を探して読書をしていましたね。すごいです！またやろう。」
「本の内容が少し分かるようになった」

「子どもたちだけで読んでもらうこともあったけど皆で本を読むことがないので良い時間がとれました」「読んでない日もあったけどいろいろな本が読めてよかった」

「親子での本読み、とても楽しかったです」
「ぜんぶおもしろかったです」

「家族でいろいろな本が読めて楽しかったね」
「ぜんぶおもしろかった」



「いつもより本を読む日が増えて良かったです」
「いつも家で本を読まないけどたくさん読めて良かったです」

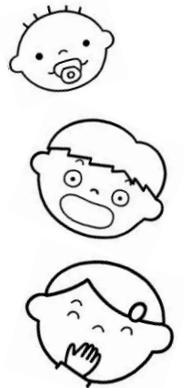
「子どもと共に読書するきっかけづくりができました。いい時間でした」「あまり本を読むことがなかったのでたくさん本が読めてよかったです」

「少しでも本を読めて良かったです」「あんまり本を読まなかった」

「たくさん本を読むのははじめてだったので、家族と出来る時間ができてよかったです」「本をたくさん読めてよかったです」

「かわいい絵本を借りてきていて、みんなで楽しめました。次は読み物にチャレンジしてほしいです」「がんばってよみました」

「これからもコミュニケーションの一環として続けていきたいです」「本を読むのがたのしいと思いました」



保護者の皆さまへ

『家族で読書』の取り組みにご協力をいただき、誠にありがとうございます。
学校でも、朝の読書や図書室の活用、読書週間などを通して、子どもたちが本に親しむ機会を増やしています。ご家庭と連携しながら、子どもたちの読書習慣を育てていきたいと考えております。
読書は、子どもたちの心と知識を育てる大切な習慣です。登場人物の気持ちに寄り添うことで思いやりの心が育まれます。また、語彙力や表現力が自然と身につく、学力の向上にもつながります。
特に小学生の時期は、読書習慣を身につける絶好のタイミングです。
寝る前の読み聞かせや、休日に親子で本を楽しむ時間など、ちょっとした工夫で読書が身近なものになります。お子さまが興味を持った本と一緒に探したり、読んだ本について話し合ったりすることも、読書の楽しさを広げるきっかけになります。
親も子も何かと忙しい毎日ですが、ご家庭でも読書の時間を大切にいただければ幸いです。
今後とも、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

●感想の一部を、紹介させていただきました。ご了承ください。